

基本方針	取組の柱	予定と実績				成果指標・活動指標		
		令和5年度予定	令和5年度実績	達成度	令和6年度予定	指標	令和5年度末	目標値 令和11年度
1 全ての人の居場所としての図書館	ア 大野図書館のリニューアル	・大野図書館のリニューアルは完了	・令和5年3月から指定管理者による大野図書館運営の開始	○	・大野図書館のリニューアル完了	人ロ一人当たりの来館回数(3館合計)	4.6回	4.5回以上
	イ はつかいち市民図書館のリニューアル	・必要に応じて施設の修繕を行う。	・故障したAV操作盤を撤去し、空いたスペースを配送資料置場等有効活用できるようにした。 ・予約取置棚が狭くなった為、増設した。	○	・必要に応じて施設の修繕を行う。			
	ウ 多様なニーズに応じるための空間と時間の調整と職員の対応	・従前の継続(はつかいち)	・従前の取組の継続(赤ちゃんタイム)(はつかいち)	○	・従前の継続			
	エ 図書館のバリアフリー化とサービスメニューの充実	・障がい者サービスの周知を市役所各部署に行う。 ・日本郵政株式会社に障がい者用郵送貸出サービス申請(さいき図書館分)を行う。	・日本郵政株式会社に障がい者用郵送貸出サービス申請(さいき図書館分)が受理され、さいき図書館でも郵送貸出が実施できるようになった。	○	・郵送貸出の方法をゆうパック以外にレターパックの検討を行う。			
2 地域の「情報ステーション」としての図書館	ア 資料の充実	・利用者が資料を簡単に探せる「資料の9割配架」を目指して、使用替と除籍を積極的に進める。	・定期的かつ計画的な除籍に努め、取り出しやすい配架を目指した。	○	・資料の受入以外に除籍を計画的に進め、利用者が資料を探しやすくする。	人ロ一人当たりの蔵書冊数	3.9冊	4.0冊以上
	イ 資料や情報を検索・予約しやすいシステムの導入と周知	・従前の継続及びWebリクエストの周知を図る。	・令和4年3月から開始した未所蔵資料のWEBリクエストは、令和5年度には1,639件申込みがあり、来館しなくてもリクエストできる環境整備が整った。	○	・Web予約、Webリクエストの周知の継続	人口百人当たり年間購入図書冊数	7.7冊	9.2冊以上
	ウ レファレンスの充実と相互貸借・障がい者向け郵送貸出の周知	国立国会図書館レファレンス協同データベース事業の参加を行う。	・国立国会図書館レファレンス協同データベース事業に参加し、データベースの公開を行った。	○	・国立国会図書館レファレンス協同データベースへ適切にデータを蓄積していく。	利用者アンケートの満足度(資料の充実)	87.2%	満足・やや満足の割合75%以上
	エ 図書館から離れた地域へお住まいの方へのサービスの提供	・指定管理者による運営となった大野図書館において引き続き移動図書館車の巡回を行い、図書館資料を借りることができる環境を整える。	・移動図書館車の民間保育園巡回については、指定管理者の提案書に「運営開始後3年目に、利用状況を分析し、市と協議の上巡回ルートの見直しをする」とあるため令和7年度に協議を行う予定である。 ・移動図書館車が巡回する市民センター等での貸出は件数が伸びている。(令和4年度貸出4,848冊、令和5年度貸出5,545冊) ・宮島まちづくり交流センター杉之浦で令和5年3月から予約本の受渡や返却本の受取の継続	○	・移動図書館車巡回スケジュール等の周知を積極的に行う。	予約件数	140,855件	100,000件以上
	オ 行政支援	・各部署とのコラボ展示に併せて、関連資料を充実させる。	・障害福祉課、健康福祉総務課、危機管理課、住宅政策課、宮島歴史民俗資料館とのコラボ展示を実施	○	・各部署からの展示依頼に基づき、分かりやすく展示し、資料の充実を図る。			
	カ 広報活動	・資料の利用につながる広報を積極的に展開する。	・資料の利用につながる広報(ホームページへの掲載134回)	○	・新刊紹介など図書館の新規利用者にも周知を図る。			
3 考える市民を育てる図書館	ア 学校への支援	・従前の取組を継続する。	・昔話ボランティア派遣事業(13校28回)、ブックトークボランティア派遣事業(7校9回)を行った。 ・図書館見学(9校(はつかいち)・1校(大野)・2校(さいき))を行った。	○	・従前の取組を継続する。	学校へのボランティア派遣等件数	37回	25回以上
	イ おはなし会や「子どもと本の講座」の開催	・従前の取組を継続する。	・コロナ禍が過ぎ、人数制限等をなくして実施した結果、コロナ前の参加者と同程度に戻った。(令和元年度5,430人、令和5年度5,490人)	○	・従前の取組を継続する。	おはなし会・講座の開催回数	351回	延べ215回以上
	ウ テーマ展示とレファレンスの充実	・展示コーナーにある本をホームページで紹介する。 ・「社会人1年目のお役立ち手帳」2023年版の発行及び市職員入庁者への配布	・各館の展示コーナーにある本をホームページで紹介した。 ・「社会人1年目のお役立ち手帳」を発行し、市役所新規採用職員や来館者へ配布した。	○	・小さなスペースにもタイムリーな内容で展示を行い、利用者へ情報提供を行う。(南海トラフ地震臨時情報など)	レファレンス件数	4,056件	3,250件以上
	エ 市民センターとの連携強化	・従前の取組を継続及びこのサービスを広報することにより、利用拡大を図る。 ・吉和ふれあい交流センターへの除籍済資料の提供	・令和5年3月時点をもって全市民センター等で返却本の受付ができるように整備し、2,888冊返却受付があった。(前年度比476冊増)	○	・市民センターでの返却受付サービスの周知を行う。	団体貸出を利用している市民センターの数	9館	8館以上
	オ 団体貸出の周知	・市民センターに積極的に働きかける。	・特に働きかけはしていない。	×	・市民センター、保育園、福祉施設などの団体からの相談があれば、団体貸出について紹介する。	団体貸出を利用している団体の数	253団体	
	カ 講座の開催	・大人向けの講座を開催する。	・大人のためのストーリーテリング(はつかいち市民図書館) ・図書館資料を活用した大人の趣味講座 アロマテラピー体験(はつかいち市民図書館) ・タブレットを使った検索スキルアップ教室(大野図書館) ・まるくる本話会(大野図書館)	○	・大人向け講座を開催し、新規利用者増加につなげる。	図書館を利用する市民の割合 ①1年間に図書館利用カードを利用した市民の割合 ②まちづくりアンケート結果	①13% ②31.5%	①15%以上 ②40%以上

基本方針	取組の柱	予定と実績			
		令和5年度予定	令和5年度実績	達成度	令和6年度予定
4 コミュニティの中核となる図書館	ア ブックスタート事業	・10か月面談の乳児と保護者に対して絵本の読み聞かせを行う。	・10か月面談の乳児と保護者に対して絵本の読み聞かせ	○	・子育て応援室と連携して継続実施する。
	イ 絵本サロンの実施	・実施に向けて子育て応援室と連携し、乳幼児健診後に絵本と参加者の交流の場の提供を企画する。	・赤ちゃんすくすく広場では絵本の読み聞かせの他、保護者との交流を行っている。（さいき図書館）	△	・読み聞かせ後、参加者同士の交流の場を企画する。
	ウ 読書体験の交流の場づくり	・新しい企画を立案する。	・図書館を利用していない人にも関心を持ってもらえるような企画を実施した。 大人の趣味講座（アロマテラピー）（はつかいち市民図書館） まるくる本和会：はたらくってなんだろう？（大野図書館） 私の本棚：利用者が選んだ本の紹介（さいき図書館）	○	・利用者参加型の展示などを企画する。
	エ 出張貸出「一箱図書館」の実施	・出張貸出のPR ・コミュニティの集会場所等に要請があれば出向いて出張貸出を行う	・出張貸出等を含む出前トーク講座を佐方市民センターで実施したが、機器不良により実施できなかった。	×	・コミュニティの集会場所に要請があれば出向く。
	オ 図書館ボランティアの発掘	・ボランティア体験会を企画する。	・子どもボランティアが1年を通じておはなし会での読み聞かせを行った。（大野図書館）	△	・ボランティア養成講座を開催するなどし、新規登録者を募集する。
	カ はつかいちアーカイブの構築	・先進事例の情報収集をする。	・未実施	×	・新図書館システムの構築に併せ、はつかいちアーカイブの準備を行う。
5 多様な情報へのアクセスが整備されている図書館	ア 図書館システムの更新	・令和6年7月の図書館システム更新に向けて情報収集をし、準備を行う	・新図書館システムの構築のための十分な準備期間を要することから、1年間の再リース後に新システムを稼働することになった。	×	・既存システムの改善点を整理し必要な機能を追加する。また利用者が使いやすいシステムの構築に向けて予算要求などを進めていく。
	イ デジタル情報へのアクセス環境の整備	・引き続き電子書籍導入のため、情報収集を行い予算獲得を行う。	・図書館利用アンケートの結果、電子書籍の要望が3割程度あったが導入に至っていない。	×	・館内にWi-fiの環境を整えるための予算要求を行う。（はつかいち）
	ウ 紙媒体の確定情報の提供や適切な情報を選び出すための支援	・従前の取組を継続する。	・レファレンスサービス受付件数（4,056件）	○	・利用者が必要としている情報に的確にたどりつけるよう支援する。
	エ 返却ポイント、貸出ポイントの増設	・返却本の受付や予約本の受取が市民センター等できることを市民に周知する。	・予約本の受取ができる市民センターの環境整備の継続	○	・市民センターでの返却本の受付などのサービスを市民に周知する。
	オ 業務の自動化	・WEBによる利用者アンケートの実施 ・人形劇の参加者募集をWEBから行い、メールで可否をお知らせを行う。	・令和5年9月に実施した図書館利用アンケートを紙媒体によるアンケートだけでなくWEBからのアンケートも実施した。 ・人形劇の参加者募集をWEBから行い、メールで当落のお知らせを行った。 ・行事案内を市のLINE登録者へ案内した。	○	・Web予約、Webリクエストの周知の継続 ・行事の参加申し込みや行事のアンケートなどWebを活用する。

成果指標・活動指標		
指標	令和5年度末	目標値 令和11年度
イベントや講座の参加者数（おはなし会を含む）	11,264人	10,100人以上
貸出冊数（個人+団体）	675,417冊	700,000冊以上
人1人当たりの個人貸出数	5.6冊	6.0冊以上
予約資料が受け取れる市民センターの数	8館	7館以上
資料を返却できる市民センター等の数	19館（全館）	全館